

利用者・家族への対応

- ・利用者の安全確保
- ・治療が必要な場合は速やかに手配
- ・外傷など目で確認できる傷などは 本人や家族の同意を得て写真などで保存
具体的な傷のサイズなどもわかうよう工夫する
- ・利用者やご家族に対し、丁寧な対応と速やかな説明が必要
- ・速やかに経過報告及び謝罪、 詳細が不明でも可能な限り状況を伝える
- ・損害賠償が必要な場合も含めて誠実に対応
事前に対応についての指針等検討、法的対応については 組織 法人として体制を整備する

行政への報告

- ・事業所内で虐待が疑われる事案が発生した場合には、事業所の所在地である市町へ 通報・報告
- ・虐待行為が確定した時点ではなく、 虐待行為が疑われる事案の発生を把握した時点で 行政への一報を
- ・行政に相談・通報などで繋げることで問題が深刻化する前に対応することが可能
- ・利用者の安全やよりよい介護環境を守るためにも行政の調査等に協力する

事業所管理者としての責務

1 利用者への対応

利用者の安全確保（安全確認、治療の必要性の有無の確認と治療の手配）

傷などは本人等の同意を得て写真を撮るなどして保存

心理的虐待は、本人の話を聴くなどして不安を取り除く

2 家族への対応

事実確認後、速やかに虐待の経過について連絡と謝罪

3 虐待者への対応

虐待が疑われる職員に事実確認

4 他の職員への対応

虐待の事実を共有

5 相談者（通報者）の保護

6 施設全体の取組み

管理者レベルのみで処理せず、施設一丸で取組む

7 行政（市町）への報告と協力

行政（市町）に報告し、行政の調査に協力

虐待発生に至った要因と分析

1. 環境上の要因

(なぜ、不適切な対応の発生を防げなかったのか?)

2. 介護者状況の要因

(なぜ、当該職員が不適切な対応をしたのか?)

3. 利用者状況の要因

(なぜ、当該利用者が被害にあったのか?)

4. 被害拡大が防止できた要因

(なぜ、被害がこの程度で済んだのか?)

情報の整理・記録、要因の分析、再発防止の検討



再発防止に向けた取組み

- 1 虐待事例、発生原因の調査分析
- 2 あらゆる可能性を想定した再発防止に向けて職員会議を活性化
- 3 苦情受付、処理体制の見直しと組織としての体制の明確化
- 4 個別ケア（不適切なケア改善の重視）の充実
- 5 職場内研修の徹底
- 6 働きやすい職場環境の実現
- 7 開かれた施設づくり

改善計画

- ・ 分析を通じた改善策を従業者に周知・徹底する
- ・ 実施した内容を具体的記録
- ・ 実施した再発防止策の達成度と効果を評価する

事業所内での研修の進め方

研修の企画	虐待防止委員会で検討し、虐待防止担当者を決め、研修計画書を作成する
研修計画	定期的に（運営基準に定められた回数）を実施 年間計画（研修内容、研修時期、場所、方法）を策定
計画的な実施	全従業員が受講できるような工夫 新規採用者に対して採用時の実施に努める 研修当日に向けた準備、調整、告知を行う
研修方法	講義形式、グループワークを取り入れる 自己点検シート（チェックシート）の活用 倫理観の向上だけでなく「スキルの向上」も意識する オンライン会議・研修の活用
研修の記録	研修の実施記録を作成し、資料、受講報告書と共に保管する 出された意見は、「職員の困っていること」、「教育的課題」として捉え、職員教育、スーパービジョンに結びつけていく
研修の評価	研修計画や指針で策定した達成課題に基づき評価を行う

○ 「介護施設における効果的な虐待防止研修に関する調査研究（MS&ADインターリスク総研株式会社）」

<https://www.irric.co.jp/reason/research/index.php>

この研修プログラムは動画を視聴いただき、高齢者虐待の類型や防止対策、法律などの基礎知識を学んでいただく【Step1】とグループワークにより、自らの行為を振り返りながら、自施設・事業所の虐待防止の取り組みについて検討していただく【Step2】の2部構成になっています

～介護施設・事業所における虐待防止研修～
プログラムの使い方



○ 介護施設・事業所等で働く方々への「身体拘束廃止・防止の手引き」

この冊子は、施設だけではなく、在宅においても不当な身体拘束が確認されている現状を踏まえ、介護施設・事業所および家族を対象として、「尊厳の保持」と「自立支援」に必要な本人の意思の尊重や意思決定支援の重要性についてあわせて、高齢者の介護は家族が担うことが多いため、家族への支援についても記載されています。

<https://www.mhlw.go.jp/content/12304250/001643323.pdf>

研修の参考になる資料



3 なぜ、高齢者虐待が起きるの？

ある事例

ある施設での勉強会で、職員のスズキさんが報告がありました。「最近、認知症が進行しているか、利用者の佐藤さんは何屋ってもオムツいじりをやめてくれません。とっても煩悩なんです。しつこいとして、手の甲をつねったらやめてくれました。」驚かされた職員から、「つねる」は、身体的虐待の具体例

に出ているから、虐待じゃないの？」という意見が出る中、「じゃあ、どうやって利用者をしつこい人ですか?」とスズキさん。佐藤さんは常にベッドも部屋も汚すから、興奮の利用者さんたちも匂いとかで迷惑しているんです。異変生活のルールはわかってもらわなきゃ」と、スズキさんは続けます。

考えてみよう

- Q1▶ 「オムツいじりをしている利用者をしつこいとして、手の甲をつねる」は虐待だと思いますか?
- Q2▶ 職員のスズキさんは、なぜしつこいとして、手の甲をつねる行為をしたのでしょうか?
- Q3▶ どうしたら、Q1のような行為を防止できると思いますか?



7 もしも、虐待に気づいたら？

ある事例

職員の高橋さんは、同僚のムラタさんが利用者の小林さんの部屋で、箸を握り込んで小林さんの口に押し込んで、食事を飲め込んでいるのを見かけました。ムラタさんは小林さんをかみ殺すつもりで、「ほんとに迷惑なんだからー!もう食べないよ!」と強引に箸を握り込んで、「もう食べないよ!」と強引に箸を握り込んでいます。高橋さんは「どうしよう、虐待なんですか?」と、小林さんの部屋を見た高橋さんは、興奮を止めて高橋高のところにいき、自分の見た全てを話しました。高橋高は一瞬、高橋さんに「知らせた方がいいよ!」もし施設が調査に来たら、私が強

させられるかもしれない!「そもそも虐待なのかどうかわからないしー!」と困っていました。でも、今までもムラタさんのケアが異常なものでないか、と何度も話し合っていました。部屋の中をのぞくと、小林さんの目には涙が浮かんでいました。高橋高のところにいき、自分の見た全てを話しました。高橋高は一瞬、高橋さんに「知らせた方がいいよ!」もし施設が調査に来たら、私が強

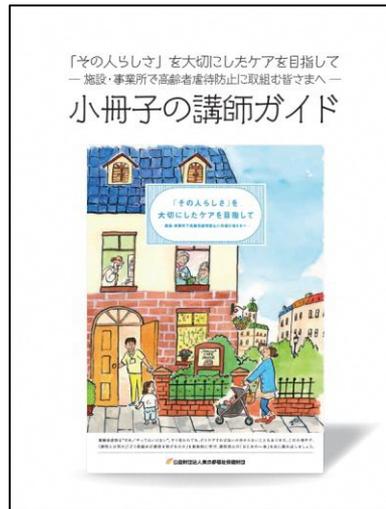
考えてみよう

- Q1▶ 高橋高は、なぜこのような発言をしたのだと思いますか?
- Q2▶ 養介護施設従事者には、虐待通報の義務があります。なぜ、義務になっているのだと思いますか?



東京都福祉保健財団
「その人らしさ」を大切にしたいケアを目指して-施設・事業所で高齢者虐待防止に取り組む皆さまへ-[PDF: 5.1MB]

高齢者虐待防止に向けた事業所・施設又は法人での実践的な取組事例についてヒアリング調査を実施し、取り組み事例を集約



小冊子の講師ガイドを活用

研修の参考になる資料

高齢者虐待防止のセルフチェックリスト

虐待を引き起こしやすい心理状況にうまく対応できれば、虐待を予防できると考えられます。

下記のチェック項目にしたがって、有無にチェックをし、「ある」と答えた時には右の2つの欄を記入してください。

記入後、話し合っ、内容を共有すると、対応方法のバリエーションが広がります。また、チームや組織として相互に助け合う方法を協議することも有効です。詳しくは、次のページの「高齢者虐待防止のセルフチェックリストの使い方」を参考にしてください。

	チェック項目 (虐待につながりやすい心理状況)	有無	どういう状態の時に虐待につながりやすい心理状況になる(なった)と思いますか？	そのような状態・状況の時、どう対応していますか？(どう対応したら良いと思いますか？)
1	利用者の「尊厳の保持」という意味が良くわからなくなることがある	ある ない		
2	利用者が「守られるべき立場」にあると思えない時がある	ある ない		
3	利用者に対して丁寧に関われない時がある	ある ない		
4	利用者から拒否的な反応をされ、うまく対応できない事がある	ある ない		
5	利用者に対し、「〇〇してあげているのに」と思い、苛立ちを感じる事がある	ある ない		
6	利用者に「どうして早くできないの？」と問いたくなる時がある	ある ない		
7	利用者が、自分の思う様に行動しない時に苛立ちを感じる事がある	ある ない		
8	利用者から大声で「呼ばれる」「怒鳴られる」時に、大声で言い返したくなる事がある	ある ない		
9	利用者から「叩かれる」「強く掴まれる」時に、ついやり返したくなる時がある	ある ない		
10	排泄介助の場面で臭いが我慢できず、対応するのが嫌になることがある	ある ない		
11	利用者の話を最後まで聞けない、言いたい事や動作を待てないと感じる事がある	ある ない		
12	利用者から呼ばれているのに、聞こえないふりをして反応したくないと感じる事がある	ある ない		

(公財)東京都福祉保健財団 高齢者権利擁護支援センター作成

○高齢者虐待防止等に関わる虐待防止、予防のチェックリスト活用

<https://www.fukushizaidan.jp/wp-content/uploads/2021/08/高齢者虐待防止のための組織体制チェックリスト.pdf>

虐待の芽チェックリスト(訪問サービス版)

虐待の芽や不適切ケアを自己チェックして、高齢者虐待を防止しましょう。
 あてはまるチェック欄に○をつけてみてください。

番号	チェック項目	チェック欄(○)		
		している	していない	(自分以外の人で 該当する人がいる)
1	利用者に友達感覚で接したり、子供扱いしたりしていませんか?	している	していない	(自分以外の人で 該当する人がいる)
2	利用者に対して、アセスメント・居宅サービス計画・介護サービス計画等に基づかず、あだ名や○○ちゃん呼び、呼び捨てなどをしていませんか?	している	していない	(自分以外の人で 該当する人がいる)
3	利用者に対して、威圧的な態度、命令口調(「○○して」「ダメ!」など)で接していませんか?	している	していない	(自分以外の人で 該当する人がいる)
4	利用者への声掛けなしに介助していませんか?	している	していない	(自分以外の人で 該当する人がいる)
5	利用者のプライバシーに配慮せず、職員や関係機関同士で話題にしたり個人情報を取り扱ったりしていませんか?	している	していない	(自分以外の人で 該当する人がいる)
6	利用者に対して「ちょっと待って」を乱用し、長時間待たせていませんか?	いる	いない	(自分以外の人で 該当する人がいる)
7	利用者に意思・意向を確認しないまま勝手に私物を捨てたり、片付けたりしていませんか?	している	していない	(自分以外の人で 該当する人がいる)
8	利用者の呼びかけを無視したり、意見や訴えに否定的な態度をとったりしていませんか?	している	していない	(自分以外の人で 該当する人がいる)
9	食事や入浴介助の無理強いなど、介護方法を工夫しないままに利用者に嫌悪感を抱かせるような援助を強要していませんか?	している	していない	(自分以外の人で 該当する人がいる)
10	利用者の身体で遊んだり、人格を無視した関わり(落書きをする、くすぐるなど)をしたりしていませんか?	している	していない	(自分以外の人で 該当する人がいる)
11	利用者や利用者の家族の言動をあざ笑ったり、悪口を言ったりしていませんか?	している	していない	(自分以外の人で 該当する人がいる)
12	利用者やその家族と、物やお金の貸し借り・授受をしていませんか?	している	していない	(自分以外の人で 該当する人がいる)
13	他の職員・関係機関等に対して、利用者に関わることにについて相談ができない等、職員・関係機関でのコミュニケーションがとりにくくなっていませんか?	とりにくい	良好	(自分以外の人で 該当する人がいる)
14	家族が行っている不適切ケアについて、誰にも連絡・相談せずにそのままにしていますか?	している	していない	(自分以外の人で 該当する人がいる)
15	居宅サービス計画の内容に課題がある、利用者への支援体制に課題があると感じても、介護支援専門員に連絡・相談せず、そのままにしていますか?	している	していない	(自分以外の人で 該当する人がいる)

(公財)東京都福祉保健財団 高齢者権利擁護支援センター作成

☆無記名で定期的実施・回収(年数回)し、集計・分析による課題把握を行い運営改善に取り組むことにより虐待防止につながります。

参考及び引用) 東京都社会福祉協議会高齢者施設福祉部会 生活相談員研修委員会 平成19年度生活相談員スペシャリスト養成研修会Cグループ 作成「虐待の芽チェックリスト」
 社会福祉法人 徳心会 介護老人福祉施設 いずみえん 作成「虐待の芽チェックリスト」

[https://www.fukushizaidan.jp/wp-content/uploads/2021/08/虐待の芽チェックリスト\(訪問系\)\(確定\).pdf](https://www.fukushizaidan.jp/wp-content/uploads/2021/08/虐待の芽チェックリスト(訪問系)(確定).pdf)

虐待の芽チェックリスト(通所サービス版)

虐待の芽や不適切ケアを自己チェックして、高齢者虐待を防止しましょう。
 あてはまるチェック欄に○をつけてみてください。その後、結果について話し合う等の機会を作りましょう。

番号	チェック項目	チェック欄(○)		
		している	していない	見たり 聞いたことがある
1	利用者に友達感覚で接したり、子供扱いしたりしていませんか?	している	していない	見たり 聞いたことがある
2	利用者に対して、アセスメント・通所介護計画書等に基づかず、あだ名や○○ちゃん呼び、呼び捨てなどをしていませんか?	している	していない	見たり 聞いたことがある
3	利用者に対して、威圧的な態度、命令口調(「○○して」「ダメ!」など)で接していませんか?	している	していない	見たり 聞いたことがある
4	利用者への声掛けなしに介助したり、勝手に私物に触ったりしていませんか?	している	していない	見たり 聞いたことがある
5	利用者のプライバシーに配慮せず、職員同士で話題にしたり個人情報を取り扱ったりしていませんか?	している	していない	見たり 聞いたことがある
6	利用者に対して「ちょっと待って」を乱用し、長時間待たせていませんか?	いる	いない	見たり 聞いたことがある
7	利用者の参加しやすさや尊厳保持、自立支援を考えずに、流れ作業的にレクリエーションを実施していませんか?	ある	無い	見たり 聞いたことがある
8	利用者の呼びかけを無視したり、意見や訴えに否定的な態度をとったりしていませんか?	している	していない	見たり 聞いたことがある
9	食事や入浴介助の無理強いなど、利用者に嫌悪感を抱かせるような援助を強要していませんか?	している	していない	見たり 聞いたことがある
10	利用者の身体で遊んだり、人格を無視した関わり(落書きをする、くすぐるなど)をしたりしていませんか?	している	していない	見たり 聞いたことがある
11	利用者や利用者の家族の言動をあざ笑ったり、悪口を言ったりしていませんか?	している	していない	見たり 聞いたことがある
12	プライバシーへの配慮に欠けたケア(排泄について大声で話す、カーテンを開けたまま排泄ケアをするなど)をしていませんか?	している	していない	見たり 聞いたことがある
13	利用者に対して乱暴で雑な介助や、いい加減な態度・受け答えをしていませんか?	している	していない	見たり 聞いたことがある
14	他の職員に仕事に関わる相談ができない等、職場でのコミュニケーションがとりにくくなっていませんか?	とりにくい	良好	(自分以外の人で 該当する人がいる)
15	他の職員が行っているサービス提供・ケアに問題があると感じることがありますか?	ある	無い	—

(公財)東京都福祉保健財団 高齢者権利擁護支援センター作成(2021)

☆無記名で定期的実施・回収(年数回)し、集計・分析による課題把握を行い運営改善に取り組むことにより虐待防止につながります。また、虐待と思われることがあった場合は市町村へ通報義務があります。
 管理者や虐待防止研修に関する担当者への相談をする事も効果的です。

参考及び引用) 東京都社会福祉協議会高齢者施設福祉部会生活相談員研修委員会 平成19年度生活相談員スペシャリスト養成研修会Cグループ作成「虐待の芽チェックリスト」社会福祉法人 徳心会 介護老人福祉施設 いずみえん 作成「虐待の芽チェックリスト」

[https://www.fukushizaidan.jp/wp-content/uploads/2021/08/虐待の芽チェックリスト\(通所系\)\(確定\).pdf](https://www.fukushizaidan.jp/wp-content/uploads/2021/08/虐待の芽チェックリスト(通所系)(確定).pdf)

虐待の芽チェックリスト(相談援助職版) (介護支援専門員等)

虐待の芽や不適切ケアを自己チェックして、高齢者虐待を防止しましょう。
 あてはまるチェック欄に○をつけてみてください。その後、結果について話し合う等の機会を作りましょう。

項目	番号	チェック項目	チェック欄(○)	
心身状況	1	利用者に友達感覚で接したり、子供扱いしたりしていませんか？	している	していない (自分以外の人で) 該当する人がいる
	2	利用者に対して、居宅サービス計画等に基づかず、あだ名や〇〇ちゃん呼び、呼び捨てなどをしていますか？	している	していない (自分以外の人で) 該当する人がいる
	3	利用者に対して、威圧的な態度、命令口調(「〇〇して」「ダメ!」など:スピーチロック等)で接していませんか？	している	していない (自分以外の人で) 該当する人がいる
	4	利用者への声掛けや了解なしに体に触れたり、居室に入ったり、勝手に私物に触ったりしていませんか？	している	していない (自分以外の人で) 該当する人がいる
	5	利用者のプライバシーに配慮せず、職員や関係機関で話題にしたり、明確な目的がなく個人情報を取り扱ったりしていませんか？	している	していない (自分以外の人で) 該当する人がいる
	6	利用者に対して会話を拒否するように「ちょっと待って」「また今度」等を繰り返すなどの対応していませんか？	している	していない (自分以外の人で) 該当する人がいる
	7	利用者に意思・意向を確認しないまま勝手に私物を捨てたり、片付けたりしていませんか？	している	していない (自分以外の人で) 該当する人がいる
	8	利用者の意向や意見、訴えに対して、不当に無視や否定的な態度をとったりしていませんか？(「どうせ言ってもわからない」等決めつけてしまうことも含む)	している	していない (自分以外の人で) 該当する人がいる
	9	利用者の理解や同意を得ないままに、利用者の意向を踏かず家族の意向を優先したり、支援者が良かれと思った介護サービス等の利用を押しつけていませんか？	している	していない (自分以外の人で) 該当する人がいる
	10	利用者や利用者の家族の言動を、ふざけるなどしてあざ笑ったり、悪口を言ったりしていませんか？	している	していない (自分以外の人で) 該当する人がいる
身体状況	11	利用者の行動を制限するような「つなぎ服」や「ミトンの手袋」、「中から開かないように外から鍵を閉める」など、身体拘束と意識せずに(又は意識していても)提案や肯定(見過ごすことも含む)していませんか？	している	していない (自分以外の人で) 該当する人がいる
	12	利用者やその家族と、物やお金の貸し借り・授受をいませんか？(同意なく利用者の金銭の預かりや管理、制限することも含む)	している	していない (自分以外の人で) 該当する人がいる
経歴	13	家族や知人、関係者等が行っている不適切ケアについて、管理者や地域包括支援センター等に連絡・相談せず、そのままにいませんか？	している	していない (自分以外の人で) 該当する人がいる
放任教務	14	利用者やその家族の状況や支援体制に課題があると感じても、保険業者や地域包括支援センター等に連絡や相談をせず、そのままにいませんか？	している	していない (自分以外の人で) 該当する人がいる
職場環境	15	他の職員・関係機関等に対して、利用者に関わることにについて相談ができない等、職場・関係機関でのコミュニケーションがとりにくくなっていませんか？	とりにくい	良好 (自分以外の人で) 該当する人がいる

(公財)東京都福祉保健財団 高齢者権利擁護支援センター作成 (2021)

☆無記名で定期的に実施・回収(年数回)し、集計・分析による課題把握を行い運営改善に取り組みることにより

虐待防止につながります。また、虐待と思われることがあった場合は市町村へ通報義務があります。

管理や虐待防止研修に関する担当者への相談をする事も効果的です。

参考及び引用) 東京都社会福祉協議会高齢者虐待防止部生活相談員研修委員会 平成 19 年度生活相談員スペシャリスト養成研修会Cグループ作成

「虐待の芽チェックリスト」社会福祉法人徳心会介護老人福祉施設いずみさん作成「虐待の芽チェックリスト」

作成協力) NPO 法人東京都介護支援専門員研究協議会

高齢者虐待防止のための組織体制チェックリスト

組織体制をチェックして、高齢者虐待の防止に努めましょう。あてはまるチェック欄に○をつけてください。「ない」「わからない」とついた項目について、これからどのように取り組むかを考えることが大切です。管理者が運営体制の見直しや事業計画立案を行うにあたり、全職員の無記名チェックの結果を分析して参考にすると、効果的であると思われます。

番号	チェック項目	チェック欄(○)		
1	組織の理念、倫理綱領、行動規範等を学ぶ機会がある。	ある	ない	わからない
2	ボランティアや実習生の意見を、ケアや体制整備に活かしている。	している	していない	わからない
3	利用者の満足度や意見を把握する機会や取り組みを実施している。	している	していない	わからない
4	個別ケア・認知症ケアの改善を言い出しやすい雰囲気がある。	ある	ない	わからない
5	個別ケア・認知症ケアが流れ作業のようになることがない。	ない	ある	わからない
6	ヒヤリハットの内容を分析して傾向を把握し、職員間で共有している。	している	していない	わからない
7	勤務体制や職員の相談体制等、職場環境の改善を積極的に推進している。	している	していない	わからない
8	職員が外部研修に参加しやすい配慮が行われている。	している	していない	わからない
9	外部研修や内部研修の遠征研修や研修レポート等が実際のケアや体制に活かされている。	している	していない	わからない
10	職員の虐待防止に対する意識や日々のサービス提供等の状況把握が行われている。	している	していない	わからない
11	苦情相談窓口を設置し、利用者等に分かりやすく案内している。	している	していない	わからない
12	組織内で職員が孤立しない様な体制作りを行っている。	している	していない	わからない
13	職員が内部研修に参加しやすい配慮(時間、回数、階層としての参加等)がある。	ある	ない	わからない
14	職員が組織内の委員会活動を積極的にしやすい体制になっている。	している	していない	わからない
15	職員一人ひとりの研修ニーズを明確化して、研修計画が策定されている。	している	していない	わからない
16	利用者の金銭や貴重品を預かっている場合、その管理は複数の職員によるチェック体制のもとにされている。	している	していない	わからない

(公財)東京都福祉保健財団 高齢者権利擁護支援センター作成

参考) (株)金澤社会福祉協議会「障害者の虐待防止に関する検討委員会」作成「施設・地域における障害者虐待防止チェックリスト A:体制整備チェックリスト 平成23年3月版」

東京都健康長寿医療センター研究所作成「実介護施設従事者等による高齢者虐待防止のための構築等 様式11職員意見票」

(公財)東京都福祉保健財団「平成27年度高齢者権利擁護に係る研修支援・調査研究事業 高齢者虐待防止事例分析検討委員会報告書「実介護施設従事者等による高齢者虐待防止」」平成28年3月

虐待の芽チェックリスト活用例①

チェックリストの 目的説明

- チェックリストに取り組む目的として「高齢者の尊厳あるケアの実現」について共有する
- 不適切ケアになっていないかを自己及び他者からの視点によりチェックを行う

チェックリストの 実施

- 定期的実施する（例：半年に1回、研修前等）
- 無記名で回収（フロア・エリア・職種など単位を分けて回収すると分析に役立つ）
- 「高齢者虐待防止のセルフチェックリスト」や「組織体制チェックリスト」も同時に実施する

分析

- 集計し傾向を把握する（小単位ごとの特徴、チェックの多い・少ない項目、前回比較等）
- 課題抽出：①背景や原因について仮説をたてる ②各種会議や委員会等により検討する
- 改善計画の作成する

フィードバック

- 虐待の芽チェックリスト等の実施・分析結果と課題及び改善計画を職員へ説明する
- 虐待の芽チェックリスト等の実施結果を基に具体的取組の実行をする（虐待防止研修等）
- 改善計画に対するモニタリングと評価（PDCAサイクルを回していく）

<https://www.fukushizaidan.jp/wp-content/uploads/2021/08/虐待の芽チェックリスト活用例.pdf>

虐待の芽チェックリスト活用例②

- ①チェックリスト実施結果の集計により取組みが進んでいない事項や改善する必要のある事項を抽出する

課題の抽出

- ②抽出された事項から取り組む内容を確定する（目標の大項目）

取組み内容の決定

- ④実施した計画に対してモニタリング、評価する

モニタリングと評価

- ③決定された取組み内容を具体的に計画をして実施する（目標の小項目、期間、進め方、役割等）

取組み計画の策定と実施

【参考文献・資料】

- 「市町村・都道府県における高齢者虐待への対応と養護者支援について」
令和7年3月 厚生労働省老健局
- 厚生労働省 令和6年度「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況等に関する調査結果
- 「身体拘束廃止・防止の手引き」 令和7年3月 厚生労働省老健局
- 日本社会福祉士会 「養介護施設従事者等による高齢者虐待対応の手引き」
- 日本社会福祉士会 「2023年度高齢者・障害者虐待対応に関する事業説明会」
厚生労働省乙幡美佐江氏（高齢者虐待防止対策専門官）作成資料
- 認知症介護研究・研修仙台・東京・大府センター「高齢者虐待を考える養介護施設従事者等による高齢者虐待防止のための事例集」
- 長崎県 「高齢者虐待対応マニュアル」

- * （公）東京都福祉保健財団 東京都高齢者・障害者権利擁護支援センター
「高齢者虐待防止と権利擁護」「高齢者虐待防止のセルフチェックリスト」
- * 東京都集団指導 高齢者虐待防止と権利擁護
- * 令和6年度浦安市 養介護施設向け高齢者虐待防止研修会資料
- * 養介護施設従事者等による高齢者虐待防止の取り組みについて
神戸市福祉局監査指導部
- * 神奈川県 高齢者の権利擁護のための研修プログラム
- * 埼玉県 令和6年度 養介護施設従事者等における高齢者虐待防止（管理者向け）